

CLIPPEDIMAGE= JP02002092351A

PAT-NO: JP02002092351A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002092351 A

TITLE: INFORMATION SERVICE DEVICE

PUBN-DATE: March 29, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

ICHIKAWA, TATSUHIRO

N/A

WASHIZU, IKUKO

N/A

MATSUDA, SHINYA

N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MEDIA FACTORY:KK

N/A

MEDIASEEK INC

N/A

APPL-NO: JP2000285858

APPL-DATE: September 20, 2000

INT-CL (IPC): G06F017/60;G06F013/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a device to offer a service to apportion a charge for using the device collected from an information user to an information provider of WWW documents, by presenting information as the WWW documents and the like.

SOLUTION: This device presents a web site containing a free page and a pay page to a user. Plural information providing members individually provide pay pages. Only a user who has become a member by paying information fees to the operator of this web site can read the pay pages. This device has a table to

record the number of access to the pay page of each information providing member, and renews the number of access of the information providing member who has become the information source of the page every time a member reads the page. When a prescribed date comes, this device actuates a program to apportion a part of the total income of a charge for using the device collected from the members to each information providing member in accordance with the number of access recorded in the table, and calculates information providing fees.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-92351

(P2002-92351A)

(43)公開日 平成14年3月29日(2002.3.29)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード [*] (参考)
G 0 6 F 17/60	3 0 2	G 0 6 F 17/60	3 0 2 E 5 B 0 4 9
	Z E C		Z E C
	3 2 6		3 2 6
	3 3 2		3 3 2
13/00	5 4 0	13/00	5 4 0 S
審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全 7 頁)			

(21)出願番号 特願2000-285858(P2000-285858)

(22)出願日 平成12年9月20日(2000.9.20)

(71)出願人 598070854

株式会社メディアファクトリー

東京都中央区銀座8-4-17

(71)出願人 300014554

株式会社メディアシーク

東京都港区麻布台2丁目3番5号 ノアビル6階

(72)発明者 一川 立裕

東京都渋谷区渋谷3-3-5 株式会社メディアファクトリー内

(74)代理人 100071283

弁理士 一色 健輔 (外3名)

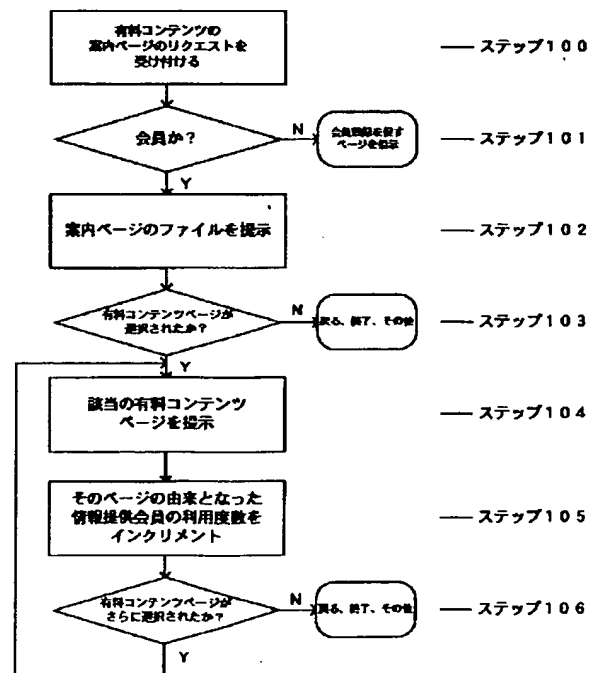
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 情報サービス装置

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 情報をWWW文書等として利用者に提示し、情報利用者から徴収した利用料をWWW文書の情報提供者に分配するサービスを行う装置。

【解決手段】 本装置は無料ページおよび有料ページを含むウェブサイトを利用者に提示する。複数の情報提供会員が個別に有料ページを提供している。有料ページは本ウェブサイトの運営者に情報利用料を支払って会員となったユーザのみが閲覧できる。本装置は、各情報提供会員の有料ページへのアクセス数を記録するテーブルを有し、会員が有料ページを閲覧することによってそのページの情報源となった情報提供会員のアクセス数を更新する。所定の期日になると、本装置は会員から徴収した利用料の合計収入の一部を、テーブルに記録されたアクセス数に応じて、情報提供料として各情報提供会員に分配するためのプログラムを起動し情報提供料を算出する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の情報提供会員から取得した情報を会員ごとに編集して構築したコンテンツデータベースと、各情報提供会員ごとの情報利用度数を管理する利用度数テーブルと、多数の情報利用会員の名簿情報を管理する利用会員データベースと、情報利用会員のコンピュータとネットワークを介して通信し、前記利用会員データベースの該当情報に基づいて認証を行った上で、希望に応じて前記コンテンツデータベースの登録情報を情報利用会員コンピュータに送達するコンテンツ提示手段と、このコンテンツ提示手段により情報利用会員コンピュータに送達した情報の起源である情報提供会員について前記利用度数テーブルの利用度数を更新する利用度数更新手段と、所定期間において情報利用会員から徴収する情報利用料金の合計と前記利用度数テーブルに記録された各情報提供会員ごとの利用度数とに基づいて各情報提供会員が受け取るべき情報提供料を算出する分配料金算出手段とを備えたことを特徴とする情報サービス装置。

【請求項2】 請求項1において、同一の情報提供会員に由来する前記コンテンツデータベースの情報を同一の情報利用会員が短期間のうちに繰り返しアクセスした場合には、長い間隔において同じ回数アクセスを繰り返した場合より小さい値しか該当の前記利用度数を増加させないことを特徴とする情報サービス装置。

【請求項3】 請求項1において、前記コンテンツデータベースに登録されている個々の情報によって、前記利用度数を増加させる値が異なることを特徴とする情報サービス装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、ブラウザを実装した携帯電話機やパソコンからのリクエストにตอบสนองして各種の情報をWWW文書などの形式で利用者に提示するWWWサーバーとして機能するネットワーク上の情報サービス装置に関し、特に、情報利用者から徴収した利用料金を情報提供者に分配する有料サービスを行う装置に関する。

【0002】

【従来の技術】インターネット上の電子モールでは、モール運営会社のWWWサーバーにさまざまな商店がテナントとして出店している。ここでは、各出店者は、ブラウザ搭載機器によりアクセスしてきた顧客に対して商品やサービスを販売するための仮想店舗をモール運営会社のWWWサーバーに構築してもらい、モール運営会社に出店料を支払う。仮想店舗で買い物をした顧客は店舗に料金を支払う。これは現実の商店街とまったく同じビジネスモデルである。また電子モールという形態を採らない有料情報サイトや電子商店サイトもインターネット上に数多く存在している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】インターネットや携帯電話を核とする情報通信技術が提供する広大な仮想空間では、現実の生活空間の範囲ではごく少数派であったとしても沢山の仲間と意見交換ができたり、問題を共有する者を沢山集めてネット上の協同行動に結びつけたりするなど、多種多様な仮想コミュニティが生み出されている。しかしインターネット上にはあまりにも膨大な情報が存在しているため、なんらかのナビゲーション的な仕組みを利用しないと、自分が欲している情報に辿りつくことが困難になっている。そのため、このナビゲーション的な仕組みが新しいビジネスモデルや仮想コミュニティを生み出す場となっている。

【0004】本発明者らは、ある情報提供者の発信する情報がインターネット上の多くの人にとって有料で取得するほどの魅力はないとしても、あるターゲットに合わせて相互に関連する情報を集積することで、ある趣味嗜好をもつ人々が対価を支払ってでも覗いてみたいと思う情報サイトを実現でき、そうすれば情報提供者と情報利用者、それに仲介者を結びつける新しいビジネスモデルを構築できると考えた。この発明の目的は、そのようなビジネスモデルの実現基盤となる情報サービス装置を提供することである。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明の情報サービス装置は、複数の情報提供会員から取得した情報を会員ごとに編集して構築したコンテンツデータベースと、各情報提供会員ごとの情報利用度数を管理する利用度数テーブルと、多数の情報利用会員の名簿情報を管理する利用会員データベースと、情報利用会員のコンピュータとネットワークを介して通信し、前記利用会員データベースの該当情報に基づいて認証を行った上で、希望に応じて前記コンテンツデータベースの登録情報を情報利用会員コンピュータに送達するコンテンツ提示手段と、このコンテンツ提示手段により情報利用会員コンピュータに送達した情報の起源である情報提供会員について前記利用度数テーブルの利用度数を更新する利用度数更新手段と、所定期間において情報利用会員から徴収する情報利用料金の合計と前記利用度数テーブルに記録された各情報提供会員ごとの利用度数とに基づいて各情報提供会員が受け取るべき情報提供料を算出する分配料金算出手段とを備える。

【0006】本発明の情報サービス装置において、同一の情報提供会員に由来する前記コンテンツデータベースの情報を同一の情報利用会員が短期間のうちに繰り返しアクセスした場合には、長い間隔において同じ回数アクセスを繰り返した場合より小さい値しか該当の前記利用度数を増加させないこととしてもよい。

【0007】また、本発明の情報サービス装置において、前記コンテンツデータベースに登録されている個々

の情報によって前記利用度数を増加させる値が異なることとしてもよい。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明の情報サービス装置の一実施例について説明する。本情報サービス装置（以下「サーバ」と称する）は、インターネットに接続されており、WWWサーバとしての機能を有する。そして、NTTドコモ社のi-modeサービスを利用できる携帯電話機にて閲覧可能な、若者向けのファッションに関する情報を取り扱うウェブサイトを提供するものである。

【0009】図1に、サーバ1を含むネットワーク構成図を示した。インターネットに接続されたサーバ1は、携帯電話機2と、インターネットへのゲートウェイとなるNTTドコモ社のi-modeサーバ3を介して接続されている。また、若者に人気のあるアパレルショップの店員が操作するパソコン端末4ともインターネットを介して接続されている。

【0010】サーバ1の管理するハードディスクには、携帯電話機2のユーザが無料で自由に閲覧できる無料コンテンツを含むページのファイルと、本サーバ1の運営者に対して情報利用料を支払って本ウェブサイトの会員となったユーザ（すなわち情報利用会員）のみが閲覧できる有料コンテンツを含むページのファイルとが、ディレクトリからなる階層構造で蓄積されている。ここでは、有料コンテンツを含むページとは、上記アパレルショップの「最新入荷情報」や「セール情報」等の情報が掲載された、そのショップ専用のページである。その専用ページのファイルは、各アパレルショップの店員により作成され、サーバ1の管理するハードディスク上に設けられたそのショップ専用のディレクトリに、パソコン端末4を利用して適宜アップロードされる。本実施例では、三つのアパレルショップ（「A社」「B社」「C社」）の3店舗が情報提供会員として、そのショップに関する情報を提供するものとする。

【0011】ユーザが操作する携帯電話機2からのアクセスを受けて、サーバ1は、本ウェブサイトのホームページのファイルをその携帯電話機2に送達する。このファイルを受け取った携帯電話機2のディスプレイには、図2に示すような画面が表示される。図示のように、このホームページには、「ファッションニュース」「ショップ地図」「アパレルショップ情報」の案内ページや「会員登録」ページのURLを指定するハイパーリンクが設定されたキーワードが一覧的に提示されるものとする。ここで「ファッションニュース」「ショップ地図」「アパレルショップ情報」の案内ページおよび「会員登録」ページは、ユーザが本ウェブサイト会員登録しなくても無料で自由に閲覧できるページであるのに対し、

ジである。ユーザは、携帯電話機2を適宜操作して、図2のホームページ画面においてハイパーリンクされたいずれかのキーワードを選択し、閲覧したいページのURLを指定してそのファイルの読み出しをサーバ1に要求する。

【0012】「ファッションニュース」「ショップ地図」の案内ページのURLを指定するハイパーリンクが設定されたキーワードが選択された場合、これらの案内ページを閲覧するのは無料なので、サーバ1は、この選択要求を受けて、指定されたファイルを携帯電話機2に送達する。

【0013】「ファッションニュース」「ショップ地図」の案内ページには、それぞれ、無料コンテンツを含むページのURLを指定するハイパーリンクが設定されたキーワードが一覧的に提示されている。これらのページは、本ウェブサイトの会員でなくても閲覧できる無料コンテンツページである。ユーザは携帯電話機2を適宜操作してハイパーリンクされたいずれかのキーワードを選択し、閲覧したいページのURLを指定してそのファイルの読み出しをサーバ1に要求する。サーバ1はこの要求を受けて、該当するファイルを携帯電話機2に送達する。このようにして、ユーザは無料コンテンツページを自由に閲覧することができる。

【0014】「会員登録」ページのURLを指定するハイパーリンクが設定されたキーワードが選択された場合、サーバ1は、ユーザが自分の個人情報（たとえば名前、年齢、性別、住所等）を入力するための入力フォームを含むファイルを携帯電話機2に送達する。ユーザにより入力され携帯電話機2から返送されてきたデータを受け取ると、サーバ1は、このデータを適宜なプログラムにより処理して、サーバ1上にあり会員の個人情報を管理するための利用会員データベースに格納する。その後、「マイメニュー登録」を促すページのファイル携帯電話機2に送達する。「マイメニュー登録」とは、「ブックマーク」機能に似たi-modeサービス特有の機能であり、この機能が実行されると、i-modeサーバ3の管理するハードディスク上の、各ユーザに割り当てられた特定領域に、ユーザの好みのウェブページのURLが保存される。その際「マイメニュー登録」されたウェブページが有料ページである場合、NTTドコモ社がそのウェブページの運営者の代わりに所定額の情報提供料を回収する仕組みになっている。すなわちユーザは、本サーバ1にある利用会員データベースに個人情報を登録するとともに、適宜な方法（本実施例では本ウェブサイトを「マイメニュー登録」すること）によって所定額の情報利用料を支払うことにより、本ウェブサイトの会員になる。

【0015】一方、「アパレルショップ情報」の案内ページのURLを指定するハイパーリンクが設定されたキーワードが選択された際の本サーバ1の動作を、図3の

フローチャートを参照して説明する。「アパレルショップ情報」の案内ページは、上記のようにして本ウェブサイトの会員となったユーザのみが閲覧できる有料のページである。この「アパレルショップ情報」の案内ページのファイルを読み出す要求を受けると（ステップ100）、サーバ1は、アクセスしてきた携帯電話機2のユーザが本ウェブサイトの会員であるかどうかを利用会員データベースを参照して判定する（ステップ101）。ユーザが会員でない場合は、「アパレルショップ情報」の案内ページではなく、「会員登録」ページのファイルを送達して、会員登録を促す。ユーザが会員である場合は、要求どおり「アパレルショップ情報」の案内ページのファイルを携帯電話機2に向けて送達する（ステップ102）。

【0016】上記ファイルを受け取った携帯電話機2のディスプレイには、図4に示すように、複数のアパレルショップのショップ名（本実施例では「A社」「B社」「C社」の3店舗）が一覧的に提示された案内ページが表示される。各ショップ名の文字列には、そのアパレルショップの専用ページのファイルを返送するサーバ1上のプログラムのURLへのハイパーリンクが設定されている。会員であるユーザにより、特定のショップ名（例えばここでは「A社」）が選択されると（ステップ103）、サーバ1は、指定されたURLにあるプログラムを起動する。すると、まず、サーバ1は、このプログラムにしたがって該当する専用ページのファイル、ここでは「A社」の専用ページのトップページのファイルを読み出し、このファイルを携帯電話機2に送達する（ステップ104）。一方、本サーバ1が管理するハードディスク上には各アパレルショップの専用ページへのアクセス数を記録するための図5に示すような利用度数テーブルが設けられており、サーバ1は、このプログラムにしたがって、この利用度数テーブルの「A社」のアクセス数を1度数増加させる（ステップ105）。図5の利用度数テーブルには、属性項目として、登録されているアパレルショップに個別に割り当てられる連番の「ショップ番号」と、その「ショップ名」と、各アパレルショップの専用ページへの「アクセス数」とが含まれる。

【0017】なお、「アパレルショップ情報」の案内ページにおいて、ユーザによりどのショップの専用ページも選択されなかった場合は、状況に応じて、本ウェブサイトのホームページのファイルを送達したり、携帯電話機2との接続を切断したりする（ステップ103）。

【0018】アパレルショップの専用ページには、そのアパレルショップの他の専用ページへのリンクが設けられている。そのアパレルショップの他の専用ページを閲覧したい旨のユーザからの要求があった場合（ステップ106）、サーバ1は該当する専用ページのファイルを返送するとともに、利用度数テーブルにおいてそのアパレルショップのアクセス数を1度数増加させる（ステッ

104、105）。具体的にはこういうことである。上記の例でいえば、「A社」の専用ページのトップページには、そのショップの「最新入荷情報」や「セール情報」が掲載された専用ページへのリンクが設けられている。ユーザから「最新入荷情報」の専用ページを閲覧したい旨の要求があった場合、サーバ1は、上述したように、そのファイルを携帯電話機2に送達する一方で、利用度数テーブルの「A社」のアクセス数を1度数増加させる。

【0019】このようにしてサーバ1は、アクセスしてくる多数の携帯電話機2との間で、上述したようなアクションを繰り返し、アパレルショップの専用ページの要求があるごとに、利用度数テーブルにおいてそのアパレルショップのアクセス数を増加させる。

【0020】一定期間が経過した後、あるいは所定の期日（例えば月の末日）になると、サーバ1は、分配料金算出プログラムを起動する。このプログラムは、以下の式にしたがって、情報を提供してくれた各アパレルショップそれぞれに対して支払うべき情報提供料 T_i を算出する。

【0021】

【数1】

$$T_i = \frac{xy(1 - \frac{z}{100})}{\sum_{i=1}^3 H_i} \times H_i$$

【0022】式中、 x は本ウェブサイトに登録している会員の数、 y は各会員が支払う情報利用料、 z は合計収入（すなわち $x \times y$ ）のうち本ウェブサイトの運営者が収益として受け取るべきパーセンテージ、 H_i は各アパレルショップごとの専用ページへのアクセス数、 i は各アパレルショップに与えられたショップ番号を表す1～3の整数である。

【0023】ここで、図5の利用度数テーブルを参照して、「A社」に支払うべき情報提供料を算出する場合について考える。例えば、本ウェブサイトに登録している会員数が5000人であり、情報利用料が200円であったとし、合計収入のうち、50%を本ウェブサイトの運営者が収益として受け取ることが予め決められているとする。サーバ1は、分配料金算出プログラムにしたがって、利用度数テーブルを参照して「A社」の専用ページへのアクセス数（すなわち H_1 ）と、3店舗の専用ページへのアクセス数の合計（すなわち $H_1 + H_2 + H_3$ ）とに基づいて演算をおこなうが、ここでは「A社」の専用ページへのアクセス数が合計300回であるとともに、3店舗の専用ページへのアクセス数の合計が1000回なので、アパレルショップ「A社」に支払うべき情報提供料 T_1 は150,000円という結果を得

7

る。同様にして、「B社」に支払うべき情報提供料 T_2 は100,000円、「C社」に支払うべき情報提供料 T_3 は250,000円という結果を得る。本ウェブサイトの運営者は、この結果を基にして、情報提供料 T_i を各アパレルショップに支払う。

【0024】なお、分配料金算出プログラムの終了時に、利用度数テーブルにおける各アパレルショップのアクセス数をリセットする。リセットする前に、必要に応じて、利用度数テーブルのデータを保存しておいてもよい。そして、利用度数テーブルの過去のデータを、例え

ば、専用ページへのアクセス数が少ないアパレルショップをより集客力のありそうな別のアパレルショップに交換する際の判断材料として利用してもよい。

【0025】ところで、上述したように、本ウェブサイトの運営者は、分配料金算出プログラムによる計算結果に基づいて情報提供料 T_i を支払うのだが、例えば振込手数料等に比して各アパレルショップに支払う情報提供料 T_i が少なすぎると、運営者にとって損失となる場合がある。そこで、プログラムを実行する度に、算出した情報提供料 T_i を各ショップごとに累計していく機能を本サーバ1に搭載してもよい。そして、この累計金額が所定額に達した時点で運営者に対して支払いの実行を促す機能を搭載してもよい。

【0026】==オプション==

上記のような構成においては、アクセス数を増やして情報提供料を稼ぐために、一人の会員が特定のアパレルショップの専用ページに何度もアクセスすることも考えられる。このようなことがないように、いつ、どの会員からアクセスがあったかを調べるために各専用ページごとのアクセスログを作成し、例えば一つの専用ページに対してある会員から同じ日に1回以上アクセスがあった場合、その専用ページを作成したアパレルショップのアクセス数をそれ以上増加させない等の対策を講じてもよい。なお、このようなアクセスログを作成することにより、どのような会員からアクセスがあったかを集計することができ、このログデータをマーケティング等に付加的に利用することもできる。

【0027】また、閲覧される専用ページによって、利用度数テーブルにおいて増加させるアクセス数を異ならせてもよい。例えば、専用ページのトップページが閲覧された場合にはアクセス数を1度数増加させることとする一方で、このトップページからリンクされているページ(上記でいえばショップの「最新入荷情報」や「セール情報」が掲載された専用ページ)が閲覧された場合にはアクセス数を2度数増加させることとしてもよい。

【0028】さらに、上記実施例では、各アパレルショップの情報を利用者に向けて提示する専用ページが要求されるごとに、利用度数テーブルのアクセス数を増加させる構成について説明した。しかし、例えば、あるアパレルショップの取り扱い商品をユーザに対して紹介する

8

一方でその商品の注文やその商品を取り置く旨の指示を受け付けるような電子商店として機能するページが併設されている場合、そのページを介してユーザが商品を注文したり、取り置く旨の指示をした場合にも、利用度数テーブル中のそのアパレルショップのアクセス数を増加させることとしてもよい。

【0029】また、上記実施例では、情報提供料を算出する際に、本ウェブサイトの運営者が合計収入のうち一定のパーセンテージを収益として受け取ることとしたが、合計収入に関係なく、運営者がある一定金額(下式中 k)を収益として受け取ることとする場合、以下の式により情報提供料を算出してもよい。

【0030】

【数2】

$$T_i = \frac{xy-k}{\sum_{i=1}^3 H_i} \times H_i$$

【0031】さらに、上記実施例では、情報提供会員であるアパレルショップの店員自身が有料コンテンツを含む専用ページを作成し、インターネットを利用してサーバ1にアップロードすることとしたが、例えば、本ウェブサイトの運営者が各アパレルショップから情報を収集して、各アパレルショップごとの専用ページを編集するような構成としてもよい。

【0032】上記実施例では、ファッション情報を提供するウェブサイト为例示して本発明を説明したが、提供する情報はどのようなものであってもよい。また、上記ではアパレルショップを情報提供会員としたが、情報提供会員は小説家、漫画家、ライター等の個人であってもよい。また、本サーバへアクセスするコンピュータとして、i-mode対応の携帯電話機を利用する例について記載したが、その他の携帯電話機を利用してもよいし、パソコンやPDA等を用いてもよい。さらに、会員からの情報利用料の徴収をNTTドコモ社に依頼する例について説明したが、オンラインクレジット決済等、どのような方法により徴収してもよい。

【0033】

【発明の効果】本発明の情報サービス装置によれば、本ウェブサイト閲覧する情報利用会員、本ウェブサイト情報を提供する情報提供会員、さらには本ウェブサイト運営する運営者のすべてにとってメリットのあるビジネスモデルを提供することができる。すなわち、情報提供会員にしてみれば、提供した情報の利用度数に応じて報酬を受け取ることができるので、より新しく充実したコンテンツを提供しようと努力するであろう。ウェブサイトのコンテンツが充実していれば、それだけ情報利用会員にとって閲覧する価値のあるウェブサイトとなるであろう。そして閲覧しがいのあるウェブサイトであれ

ば、それだけ多くの情報利用会員を集めることができ、運営者の収益も増加することとなる。

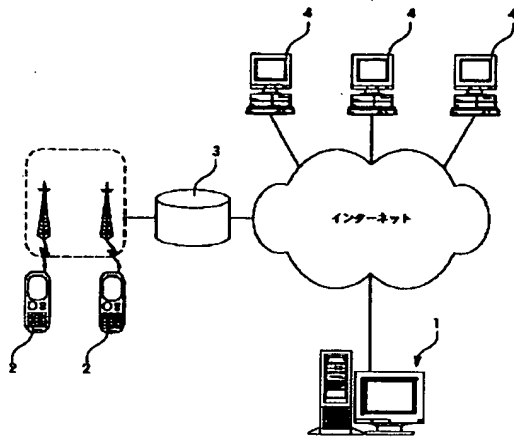
【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の情報サービス装置の一実施例を含むネットワーク構成図である。

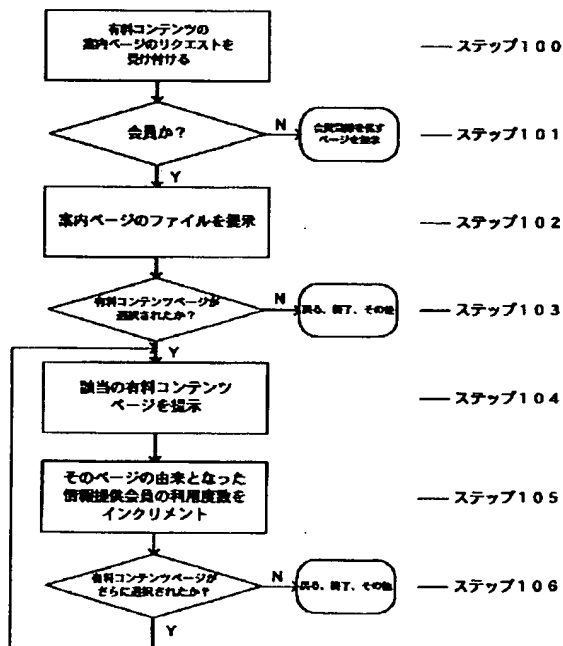
【図2】情報利用会員が使用する携帯電話機のディスプレイに表示される画面の一例である。

【図3】本発明の情報サービス装置の動作の一例を示すフローチャートである。

【図1】



【図3】



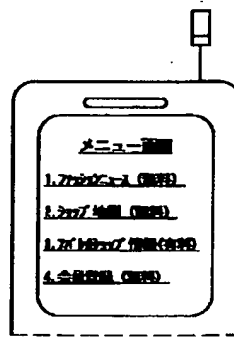
【図4】情報利用会員が使用する携帯電話機のディスプレイに表示される画面の一例である。

【図5】利用度数テーブルの構造例を示す概念図である。

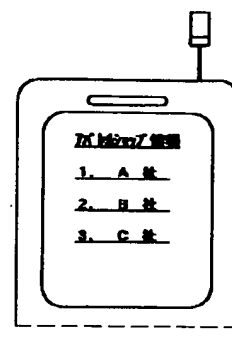
【符号の説明】

- 1 サーバ
- 2 携帯電話機
- 3 i-modeサーバ
- 4 パソコン端末

【図2】



【図4】



【図5】

ショップ番号 (i)	ショップ名	アクセス数 (Ai)
1	A社	300
2	B社	200
3	C社	500

フロントページの続き

(72)発明者 鷺津 郁子
東京都港区麻布台2-3-5 株式会社メ
ディアシーク内

(72)発明者 松田 進也
東京都港区麻布台2-3-5 株式会社メ
ディアシーク内
Fターム(参考) 5B049 AA05 CC02 CC36 DD01 DD05
EE01 FF03 FF04 FF09 GG04
GG07